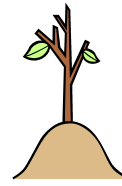


種時人

令和3年9月29日
須恵小学校便り22号



感動創造

「君子は豹変し，小人は面を革む（あらたむ）」 易経
君子は日進月歩，日々に善に変化していく。これに反して小人は心にもなく顔面だけ，上の人の意に従う態度をとる。 漢字研究者：諸橋轍次博士
君子が変わるときは，はっきりわかるように変わるという意味もあるとか。

運動会は晴天の下で実施（9/26）

児童が一所懸命に取り組んで満足または成長し，その取組を学校と家庭が支えることができたならば運動会は成功だったと私は考えます。当日の，感染防止へのご協力，そして運営へのご支援はありがとうございました。最後の後片付けまで，しっかりサポートいただき，本当にお世話になりました。



団長による選手宣誓

子供たちにも，運動会はよい思い出になったのではないかと思います。

五木東小学校の授業参観（9/17）

五木東小学校の5・6年複式授業及び3・4年生の自習の様子を見に行ってきました。保護者及び教育委員会と校長です。



1学期に3・4年の複式授業を公開しました。目的はそれと同じで，複式授業の実際を保護者の皆様に見ていただくという取組です。参加した恒松PTA会長が，学校規模等適正化委員会で，参観の感想等を報告すると聞いています。本校は来年度が複式学級になると決まったわけではありません。しかし，いざというときの準備は怠らないようにしていきます。



失敗したら「やり直し」

木村泰子著「10年後の子どもに必要な『見えない学力』の育て方」という本があります。9月26日（日）の熊本日日新聞で中曽根陽子氏が紹介していました。学校は「誰もが安心していられる場所」とは同感です。これは教育実践の見直しを不断に行うことが肝要と思います。また，見えない学力（非認知能力）が大切と説き「大人が正解を作って指示命令をすることは決して育てない」と言い切ります。これらが，「新しい学力」とか「生きる力」と言われる力の一部です。この本は「身近にいる大人が子どもを信頼し，子どもから信頼される大人になること」だと教えてくれます。私も失敗します。その失敗を糧に，自らを成長させようとする意志が大切だと思います。